

# 京都工芸繊維大学(KIT)で英語を学ぶにあたって

## 1. 「KIT 英語鍛え上げプログラム」の概要

国際的に活躍する高度で専門的な科学技術者を養成する KIT では、その基盤となる高い英語力を 1・2 回生のうちに培うために、「英語鍛え上げプログラム」という集中的な学習プログラムを実施しています。先端分野を担う科学技術者には、「世界共通語」とも言われる英語をマスターすることが必須で、日常会話はもちろん、専門領域の情報を自在にやりとりできる高度な英語運用能力が求められます。上回生になれば、あるいは、大学院に進めば、英語文献の読解、英語による論文執筆、国際学会での口頭発表、諸外国からの研究者や留学生との交流などのタスクをこなさなければなりません。また、経済のグローバル化が進む今日、企業は英語力の高い人材を必要としており、英語ができる・できないによって皆さんの進路が大きく左右されます。これらを踏まえ、KIT では通常の英語授業を通して、短期間で皆さんの英語力を徹底的に鍛え上げます。どの科目でも、毎回の授業で周到な予習復習やテスト準備が求められます。また 1 年次には、授業内容に関するものとは別に、e-learning や extensive reading (多読プログラム) の課題が毎週課されます。さらに、TOEIC IP (団体テスト、実施日は追って通知します) や本学独自の スピーキングテスト (12/11[土], 12/12[日]実施) の受験も義務づけられます。これらの課題の達成度やテストのスコアは必修科目の成績に加味されますので、プログラムの趣旨をよく理解して、積極的に学習に取り組んでください。

## 2. KIT の英語教育科目

KIT では、(i) TOEIC 等の外部試験受験に向けた準備科目として Career English 系科目 (Basic, Intermediate, Advanced) を、また、(ii) 英語で行われる授業の受講に向けた準備科目として Academic English を、さらに、(iii) 専門科目を学び、研究を進める上で必要となる、英語による論文読解・執筆・プレゼンテーション・ディスカッション等に関する基礎的な力を養うための科目として Interactive English A/B と Active English (CLIL, Reading, Writing, Listening & Speaking, Project-Based Learning) を開講しています。詳細は次の表を参照してください。英語教育科目はいずれも各学期で完結する科目で、単位認定は別個に行われます。

<u>Interactive English</u> A/B	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>A は 1 年次前期配当、B は 1 年次後期配当で、いずれも必修科目</b></li><li>・ 口頭のインタラクションに重点を置き、多様な場面に自信を持って対応できるコミュニケーション能力を養うとともに、海外情勢や異文化についての理解を深める。</li><li>・ 追加課題として extensive reading (多読プログラム) が組み込まれる。</li><li>・ 12/11[土]、12/12[日]のスピーキングテストのスコアも B の成績に加味される。</li><li>・ *A/B とも、指定クラス制 (各学生が指定されたクラスで受講する制度)</li></ul>
<u>Academic English</u>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>1 年次後期配当の必修科目</b></li><li>・ 学術的な場面で英語を使うための基礎を固める。</li><li>・ 追加課題として e-learning が組み込まれる。</li></ul>
<u>Career English</u> Basic Intermediate Advanced	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>Basic は 1 年次前期配当、Intermediate と Advanced は 2 年次配当で、いずれも必修科目</b></li><li>・ 将来の就職活動や大学院進学などを見すえ、TOEIC など社会的に認知された評価基準に耐えうる柔軟な英語運用能力を身につける。</li><li>・ Basic で基礎を固め、Intermediate では TOEIC630 レベル、Advanced では 730 レベル</li></ul>

	<p>を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>TOEIC IP または TOEIC 公開テストの受験が義務付けられ、スコアが成績に加味される。</li> <li>Basic では、追加課題として e-learning が組み込まれる。</li> </ul> <p>* Basic の単位を取得していなければ Intermediate は履修できない。また、Intermediate の単位を取得していなければ Advanced は履修できない。</p> <p>* TOEIC630 レベル以上のスコアを取得すれば、Intermediate の単位が認定され、履修が免除される。また、730 レベル以上のスコアを取得すれば、Advanced の単位が認定され、履修が免除される。[いずれも成績は S]</p>
<p><b>Active English</b></p> <p>CLIL</p> <p>Reading I, II</p> <p>Writing I, II</p> <p>Listening &amp; Speaking I, II</p> <p>Project-Based Learning</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>2年次以降配当の選択科目</b></li> <li>CLIL (英語以外の科目を英語で学ぶ授業), Reading, Writing 等に分かれており、既修の知識や能力を積極的に使ってさらなるレベルアップを図ることや、特定の分野に特化したスキルを磨くことを目標とする。</li> <li>追加課題として extensive reading (多読プログラム) が組み込まれる。[ただし、<b>2020年度に引き続き2021年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が十分に阻止・防止された状態とは言えないため実施しません。</b>]</li> <li>* CLIL, Reading I, Reading II, Writing I, Writing II, Listening &amp; Speaking I, Listening &amp; Speaking II, Project-Based Learning はそれぞれ独立した科目であり、各科目を一度しか履修できない。この科目名が異なれば、別科目として履修できる。</li> </ul>

#### 授業への出席について

KIT では、英語教育科目の取り決めとして、やむをえない事情がない限り、4回以上欠席すると成績評価の対象にならない(受講資格を失う) ことになっています。また、「語学」という科目の性質上、受け身にならず、積極的に学習活動に参加することがすべての受講生に求められます。積極的に授業に取り組んでいない場合や、授業を妨げる行為があった場合には、欠席とみなされることがあります。

### 3. 到達目標の目安

KIT の学生は、卒業までに、英語の必修科目 (Career English Basic/Intermediate/Advanced, Academic English, Interactive English A/B) 6 単位を含む 12 単位以上の言語学科目の単位を取得する必要があります。 TOEIC (あるいは TOEFL) 等の外部テストを通して自分の英語力が海外や実社会の基準に照らしてどのくらいかを確認しながら、実力や興味・関心等に沿って、必要とされる英語の授業を受講し、単位を取得していきましょう。専門領域の知識やスキルの獲得に加えて英語力の向上を目指すのは至難の業です。自学自習も意欲的・計画的に進めていってください。下に TOEIC を基準とした目標設定の目安を示します。TOEFL など他のテストについても同じことが言えますので、高い目標を設定して着実に学習を進めましょう!

	TOEIC	TOEFL iBT
↓	<p>学んだ知識を実際のコミュニケーションで使えるレベルには達していない。TOEIC に特化した勉強をする前に、文法・語彙などの基礎固めをしよう。「意味」を意識しながら、リスニングや音読を繰り返すことにより、訳し上げずに (そのままの語順で) 内容を理解できるようになることが重要!</p>	

	TOEIC	TOEFL iBT
450 ↓	<p>実生活で最低限のコミュニケーションができる（ゆっくり話してもらえれば、相手の言っていることが分かり、身近な話題であれば応答も可能な）レベル。基礎力はあるはずなので、あとは勉強あるのみ！ 語彙力アップと文法知識のブラッシュ・アップを図りながら、リスニング・リーディングの訓練を積もう。</p> <p>1年次前期の Career English <u>Basic</u> 受講終了までに、630レベルを突破することが理想。達成できなかった場合でも、2年次前期の Career English <u>Intermediate</u> 受講開始までに 630レベルに達すれば、単位が認定され同科目の履修が免除される[成績は S]。履修免除にならない場合でも、受講終了までに 630レベルに達すること。</p>	
630 ↓	<p>日常会話の自然なスピードに対応できるレベル。このレベルに到達すれば、文法・語彙などを含むすべての領域でまずまずの実力はあるはず。実戦的な問題集などを用いて、さらなるトレーニングを積もう！ ポイントは、単に問題を解くだけでなく、リスニング・リーディングとも問題文や選択肢の細かいところまで十分に理解し、覚えるべき事項を確実に覚えること。</p> <p>2年次後期の Career English <u>Advanced</u> 受講開始までに 730レベルに達すれば、単位が認定され同科目の履修が免除される[成績は S]。履修免除にならない場合でも、受講終了までに 730レベルに達すること。</p>	61 米, 加などの2年制大学進学に必要とされるレベル
730 ↓	<p>日常会話を越え、ニュースやドラマなどの英語にもなんとか対応できるレベル。スコアが 730 を超えると、仕事上でも最低限のコミュニケーションができるようになるので、近年は多くの企業が新卒者にこのレベルの英語力を求めるようになってきている（「TOEIC 730」は企業の人事担当者から見た選考分岐点の一つと言われる）。このレベルまでくると、スコア・アップは容易ではないが、TOEIC に特化した勉強に加え、新聞・テレビ・インターネットなどを利用して日常的に英語を使うようにすれば、実力は確実に伸びる。</p> <p>730 に到達後半年から 1 年を目途に、次のゴール(800)を目指そう！ 800 点以上を取ると、言語教育科目(選択科目)1単位が認定される。</p>	80 米, 加などの大学進学に必要とされるレベル
800 ↓	<p>多様な場面で適切なコミュニケーションができるレベル。理工系の学部生としては優秀なレベルだが、国際社会で自在に仕事や研究をするには不十分。多様なメディアを介して大量のインプットを受け取るとともに、アウトプットの機会をできる限り増やそう！ ポイントは、英語との接触を日常化すること。</p> <p>レベルが高くなるほど得点アップは難しく、学習を継続する力が試される。 860 点以上を取ると、さらに言語教育科目(選択科目)1単位が追加認定される。</p>	
860	<p>語彙・文法を駆使して、円滑なコミュニケーションができるレベル。このレベルに達すると、学習の成果を目に見える形で測定することは難しい。英語を実際に使うことと学習の積み重ねで、地道にブラッシュ・アップを図るしかない。</p> <p>大学時代にどこまでいけるか？ ここから先は自分への挑戦！</p>	100 米, 加などの大学院進学に必要とされるレベル

#### 4. 学習の進め方

外国語習得を促す主要因は、インプット（読んで、聴いて、内容を理解すること）です。それも大量のインプットを浴びなければ、外国語を使いこなせるようにはなりません。「英語鍛え上げプログラム」に積極的に取り組めば、短期間で集中的に大量のインプットを浴びることができます。いっぱい読んで、いっぱい聴いて、しっかり理解するという単純なプロセスですが、その効果を左右するのは、学習に投じる時間と集中力です。TOEIC や TOEFL 受験のための勉強も英語習得に有効ですし、大学院入試や就職にも役立ちます。常に「使う」ことを意識して、積極的に学習を進めてください。毎日最低2時間を英語学習にあてるのが目安です。他教科の勉強もあって大変ですが、成果は必ず自分に返ってきます。覚悟を決めて、時間とエネルギーを自己投資してください。

## 5. 「KIT 英語学習サポートシステム」について

学生の自学自習を支援し、英語力向上を図るために、以下のような制度を設けています。積極的に利用して、学習効果を高めましょう！

### (1) 英国英語研修, 豪州英語研修, フィリピン短期集中英語研修

本学では、学生の英語力を向上させるための海外研修プログラム—イギリスの国立リーズ大学語学センターでの英語プログラム（夏休み中 5 週間）、オーストラリアの国立クイーンズランド大学語学センターでの英語プログラム（春休み中 5 週間）—を実施してきました。いずれも世界各国からの学生に交じって英語を学ぶプログラムで、大学からの学資支援があります。またこれに加えて、フィリピンのセブ島で個人レッスンを中心に英語を学ぶ短期集中プログラムもあります。これらの研修に参加して一定の成績を取った学生には、本学の言語教育科目 1~2 単位が認定されます。[ただし、2020 年度に引き続き 2021 年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が十分に阻止・防止された状態とは言えないため、いずれのプログラムも実施は未定です。最新情報は学生情報ポータルやウェブ等で告知します。]

### (2) e-learning を用いた学習支援

コンピュータがあれば、どこでもオンラインで英語学習ができる Academic Express を導入しています。1 年次の配当科目 Career English Basic と Academic English では、このシステムを利用して毎週課題が出されます。Academic Express には、この課題として出される教材以外にも、「週刊！英語ドリル」や「TOEIC mini」「TOEFL mini」などをはじめ、多様な教材が揃っています。これらもうまく利用して継続的・自主的に英語学習を進めましょう。

### (3) 自主学習応援セミナー

学生の自主的な学習をより効果的なものにするために、毎年多彩なセミナーを開催し、好評を博しています。学務課のサイト等で詳細を掲示するので、積極的に参加してください！[ただし、2020 年度に引き続き 2021 年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が十分に阻止・防止された状態とは言えないため、実施は未定です。最新情報は学生情報ポータルやウェブ等で告知します。]

### (4) カレッジ TOEIC

TOEIC IP（団体受験）とは別に、大学生協の協力により、カレッジ TOEIC が定期的実施されます。生協 KIT SHOP で日程を確認して申し込んでください。公開テストより安価で簡単に実力チェックができます。[ただし、2020 年度に引き続き 2021 年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が十分に阻止・防止された状態とは言えないため、詳細な日程等の情報は、各自生協 KIT SHOP で確認すること。]

### (5) 英語教員のオフィスアワー

英語教育を担当する各教員がオフィスアワーを設け、学生からの質問や相談に応じています。受講科目の選択や授業の内容についてはもちろん、TOEIC・TOEFL などの試験対策、短期・長期の留学など、英語学習に関する質問・相談なら何でも受け付けます！

### (6) 英語科ウェブサイト English Crossroads for KIT Students

上述した KIT の英語教育科目や英語学習サポートシステム等に関する詳細は、ウェブサイト (<http://www.cis.kit.ac.jp/~lang/index.html>) でも確認できます。分からないことがあれば、そちらも参照してください。

#### ※注意

・学期末の TOEIC IP 受験の日（追って通知します）と 12/11(土)、12/12(日) [スピーキングテスト受験] は終日予定を空けておいてください。いずれも追試験は行いません。